

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 経験者採用職員（総合職）公募
（寒地基礎技術研究グループ寒地地盤チーム 主任研究員または研究員）

職 名：寒地基礎技術研究グループ 寒地地盤チーム 主任研究員または研究員

勤務場所：国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所（札幌市）

募集人員：1名程度

着任予定時期：令和9年4月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切：令和8年11月13日（金曜日）17時必着

採用後の位置づけと定年制への移行

基本的に任期は3年間ですが、パーマネント（定年制）への移行を希望する者については、任期中の実績や土木研究所への貢献等を総合的に考慮しつつ、審査を経てパーマネントの研究員に移行することが可能です。

募集の背景：北海道に代表される積雪寒冷地においては、厳冬期の地盤の凍上や凍結、春先の融解や融雪に加え、泥炭・火山灰といった特殊土地盤の分布など、特有の気象・地盤環境に起因する災害やインフラの損傷リスクが常に存在する。さらに、気候変動に伴う降雨・降雪パターンの変化や、切迫する大規模地震への備えなど、対応すべき課題は多様化・高度化している。

寒地地盤チームでは、泥炭・火山灰質地盤といった特殊土地盤における橋梁基礎や盛土の耐震性向上、積雪寒冷環境における土工構造物の凍上・融雪被害軽減、および土工の生産性向上やリサイクル材料の有効利用に関する研究開発を行っているところであり、これらの分野に関する専門性を有し、研究を担当しつつ将来は研究活動のマネジメントを担うことが期待される研究者が必要となっている。

職務内容：当研究所の設置法「国立研究開発法人土木研究所法」に定められた目的に沿い、以下の業務を行う。

1）研究開発

当研究チームでは、地盤工学分野に関する研究活動を計画的に推進する。

【主な対象分野（例）】

- イ 特殊土（泥炭・火山灰土）地盤への対策および積雪寒冷地の地盤に係る対策技術
- ロ 地盤の耐震および液状化対策技術
- ハ 建設リサイクルおよび関連技術

2）技術指導・成果普及

国土交通省等の行政機関や現場への技術指導、研究成果の普及・社会実装活動に従

事する。

※主任研究員として採用される場合は、上記に加え、研究チームのマネジメント（所属研究員の指導・育成を含む）を含む。

応募条件：【主任研究員】

- 1) 以下のいずれかの資格を有する者
 - イ 博士の学位を有すること。なお採用日までに取得する見込みのある者を含む。
 - ロ 理工系分野の修士の学位を有すること。
 - 2) 職務内容に示すいずれかの分野に関する専門知識を有し、関連する研究実績もしくは実務実績を10年以上有すること
(大学院博士課程（博士後期課程）を修了している者については3年を経験年数に含むこととする)
 - 3) 採用予定日現在において、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所職員就業規則第47条に定める定年年齢に達しない者（同規則附則（令和5年3月30日（国研）土研寒管第321号）第2条により令和9年度における定年年齢は63歳）
 - 4) 業務の遂行に必要な日本語能力を有する者
- 上記1)～4)を満たすことを条件とする。

【研究員】

- 1) 以下のいずれかの資格を有する者
 - イ 博士の学位を有すること。なお採用日までに取得する見込みのある者を含む。
 - ロ 理工系分野の修士の学位を有すること。
 - 2) 職務内容に示すいずれかの分野に関する専門知識を有し、関連する研究実績もしくは実務実績を5年以上有すること。
(大学院博士課程（博士後期課程）を修了している者については3年を経験年数に含むこととする)
 - 3) 採用予定日現在において、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所職員就業規則第47条に定める定年年齢に達しない者（同規則附則（令和5年3月30日（国研）土研寒管第321号）第2条により令和9年度における定年年齢は63歳）
 - 4) 業務の遂行に必要な日本語能力を有する者
- 上記1)～4)を満たすことを条件とする。

待 遇：※令和8年8月時点の内容

①勤務日・勤務時間：月～金曜日 8:30～17:15（フレックス制度あり）。

②給与等

月給：【主任研究員】 44万円～（博士・実務経験7年の場合の一例）

※基本給、地域手当、役職手当を含んだ額。その他、扶養手当、住居手当、通勤手当、寒冷地手当（11～3月）等を支給

【研究員】 34万円～（修士・実務経験5年の場合の一例）

※基本給、地域手当を含んだ額。その他、時間外勤務手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、寒冷地手当（11～3月）等を支給

賞与：年 2 回（6 月、12 月）

昇給：年 1 回

上記の例での年収例：【主任研究員】725 万円～【研究員】560 万円～

※上記年収例は、基本給、地域手当、役職手当（主任研究員のみ）を基に算出。

その他の手当額は除いています。

③空きがある場合には、公務員宿舎へ入居可能。

④年次休暇：15 日（令和 9 年 4 月 1 日採用の場合）

毎年 1 月に 20 日付与 20 日まで翌年に繰り越し可能

⑤特別休暇：夏季休暇 3 日間の他、結婚、出産、忌引等の場合

⑥子育て支援制度：土木研究所は「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けており、仕事と家庭（育児）の両立に向けた制度が充実しています。

女性活躍推進：土木研究所は女性活躍推進行動計画に基づき、女性研究職員の積極的な採用を進めています。

選考方法：書類審査、適性検査、選考試験（面接等）に基づき、応募条件を満たすもののうちから、応募条件に掲げた知見、実務・研究経験、職務内容の理解度、職務遂行意欲に最も優れた者を選考する。

適性検査、面接は WEB（オンライン）での受験も可能です。

提出書類：様式自由、書類は全て A 4 サイズ、

(1)履歴書（弊所指定、ホームページに掲載）

(2)これまでの業績の概要

(3)業績リストと代表業績（代表業績に関する論文の写し、レポート等 2 件以内）

(4)職務に関する本人の抱負（1,000 字以内）

なお、主任研究員、研究員の希望（あるいはいずれも可）を記すこと。

(5)修了証明書（最終学歴のもの。修了見込みの場合は、それを証明できる書類）

なお、応募書類は返却しません。

書類提出先、問い合わせ先：

〒062-8602 札幌市豊平区平岸 1 条 3 丁目 1 番 34 号

国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 管理部管理課人事担当宛

封筒に「寒地基礎技術研究グループ（寒地地盤チーム）経験者採用職員応募書類在中」

と明記の上、書留で郵送のこと

TEL:011-841-1624 E-mail:jinja-kyouyuu(a)ceri.go.jp

※ 「(a)」は、「@」に読み替えるものとする。

以上